

第38回

青森県を核のゴミ捨て場にさせない！

4・9 反核燃の日 全国集会



原発再稼働
核燃サイクルに歯止めを！

核燃絶対まいね！

日時 2023年6月24日(土) 14時～

場所 青森市「青い海公園」

主催 第38回 4・9 反核燃の日全国集会実行委員会



原水爆禁止日本国民会議 原子力資料情報室

青森県反核実行委員会 (青森県平和労組会議、自治労青森県本部、社民党青森県連合、フォーラム青森、原水禁青森県民会議)

核燃サイクル阻止1万人訴訟原告団 核燃料廃棄物搬入阻止実行委員会

連絡先 青森市青柳1丁目3-14 青森県反核実行委員会 ☎017-776-5665

●感染対策は各自の判断でお願いします。●

集会の趣旨

1985年4月9日、当時の北村知事が核燃サイクル3点セットの受け入れを決め、以来私たちは、核と人類は共存できないと訴え「4・9反核燃の日全国集会」を開催し中止を求め続けてきた。

ウラン濃縮工場を5月に再稼働する計画だが、1993年に着工した再処理工場は26回も完工延期を繰り返し、詳細設計の認可審査が進まず27回目の延期が予想される。

国は再処理して取り出したプルトニウムを、大間・フルMOX原発で大量に消費するとしているが、実用化が見通せていない。また、高レベル放射性廃棄物一時貯蔵施設は、最初の受け入れから28年目を迎えるが、30～50年後に搬出する目処もない中、低レベル放射性廃棄物埋設施設だけが原発のゴミを受け入れ続けている。

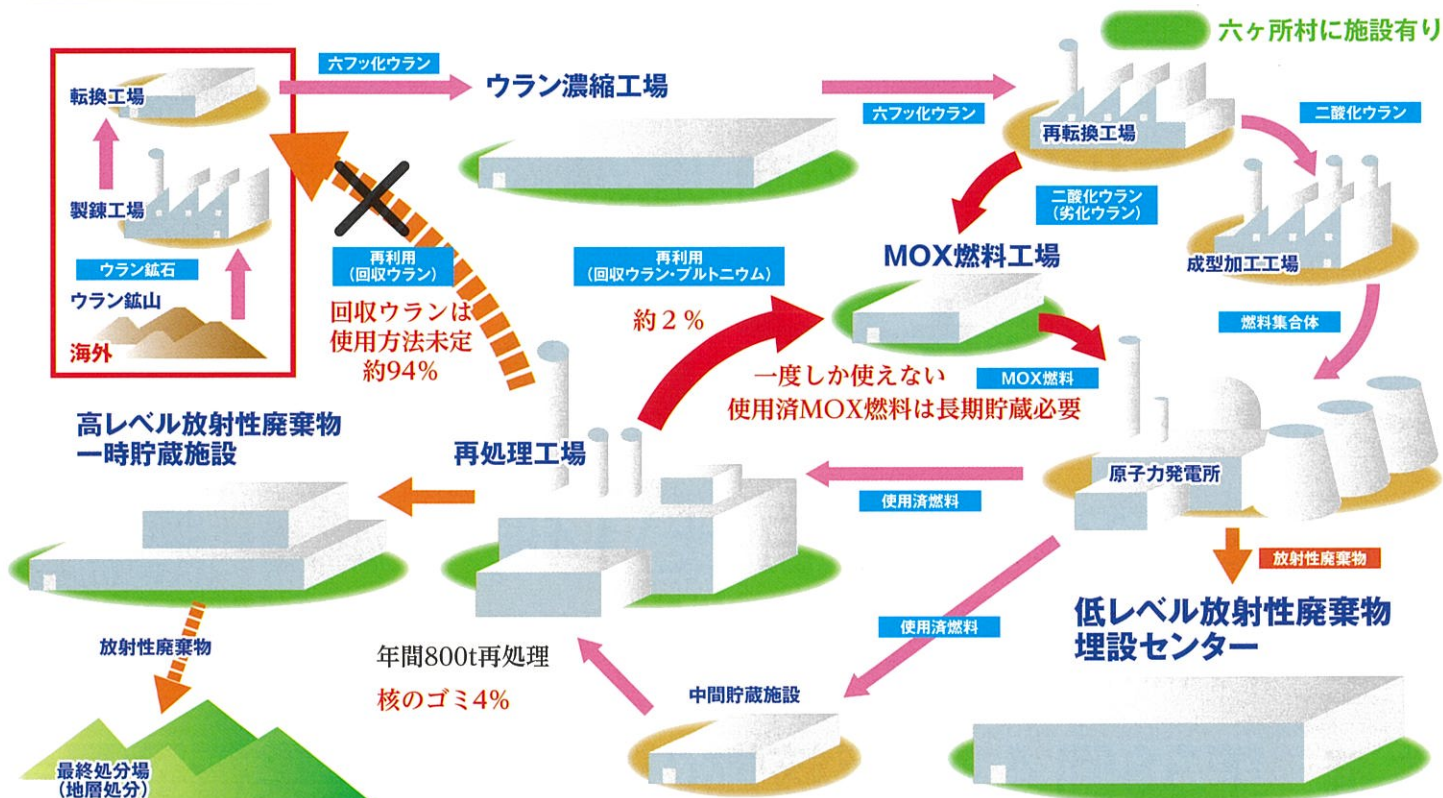
2011年の3・11東京電力福島原発事故から12年が経過し、政府は今年の夏までに海洋放出の方針を決め、トリチウム汚染水は夏までに137万トンに及ぶとされ、放射線量では850兆ベクレルを超え約30年かけて海水で薄めて放出する計画となっている。漁業者はもちろん、消費者も海洋放出には反対し、私たちもこのたたかいを支援している。

世界は、福島原発事故を教訓に脱原発に舵を切っているのに、岸田政権は原発の運転期間延長など時代に逆行するものである。また、ロシアがウクライナに軍事侵襲して1年が過ぎ、ウクライナの原発をロシアが占領して軍事攻撃の拠点にする愚行に出て、核戦争に発展する可能性を示唆し、全世界の人々を恐怖に陥れている。

日本の原子力施設が他国に軍事攻撃目標にされる可能性を考えると、すぐにも原子力施設を終わりにさせる政治決断を岸田政権がすべきである。

したがって、未来の子どもたちが安心して生きるため、私たちが脱原発社会を目指し、みんなで「第38回4・9反核燃の日全国集会」に結集しよう。

六ヶ所村の核燃サイクル施設は資源とお金の無駄遣い！！



核燃サイクルの輪は途切れている!!

カンパのお願い

- 東北労働金庫 青森支店(普通) 3991738
青森県反核実行委員会 実行委員長 今村修
- 郵便振替 02210-8-126675
反核燃の日全国集会実行委員会

